

さいたま市の主な新規・拡大事業

**さいたま市をアートで
溢れるまちに**
国際芸術祭
「さいたまトリエンナーレ」の開催

**浸水被害を軽減し、
安心・安全に暮らせるまちへ**
流域貯留浸透事業、
水位情報システム構築

**世界へ羽ばたく
人材の育成へ**
新たな英語教育
「グローバル・スタディ科」を全校で実施

**高齢者の生活を
支える体制強化**
日常生活圏域ごとの
生活支援コーディネーターの配置等

**ゆりかご前からの切れ目のない
妊娠・出産包括支援**
不妊治療の支援、
妊娠・出産包括支援センターの新設

**つながろう
東日本プロジェクト**
東日本各都市の連携による
地方再生及び地域の活性化の推進

民主改革さいたま市議団

「平成28年度 予算編成及び施策に対する提案」 により実現しました！

認可保育園の整備促進と運営費補助の拡大

平成28年4月に1,505人の定員増を行うとともに、平成29年度の開設に向けて、定員1,302人分の新設・増改築整備について助成を行う予定です。
運営費補助の拡大については、現行の補助制度を維持しつつ、私立保育所での障害児の受け入れを促進するため、選任保育士の人件費補助を引き上げてまいります。

公有地や学校施設を活用した放課後児童クラブの設置

放課後児童クラブの待機児童の解消に向け、平成28年度は、新設3か所、分離による規模拡大9か所の整備により、受入可能児童数を420人増員してまいります。

特別養護老人ホームの充実

特別養護老人ホーム等の老人福祉施設については、民間活力の活用を前提に、計画的に整備してまいります。

- 平成27～28年度 3施設整備（新規3）404床
- 平成28～29年度 5施設整備（新規3）394床

荒川サイクリングロードなど自転車のレクリエーション利用のための環境整備

荒川サイクリングロードを中心とした広域的なルート設定に加え、トイレや休憩所などのサイクルサポート施設設置に向けた検討を行ってまいります。

阪本 かつみ

さいたま市議会議員

2016年2月 定例議会レポート

～市民に開かれた議会を目指して！～



阪本 かつみ

《議会での役職》
保健福祉常任委員会 委員
企業会計予算決算特別委員会 副委員長
政治倫理特別委員会 副委員長
見沼たんぼ将来ビジョン特別委員会 委員

平成28年度 予算が決定しました



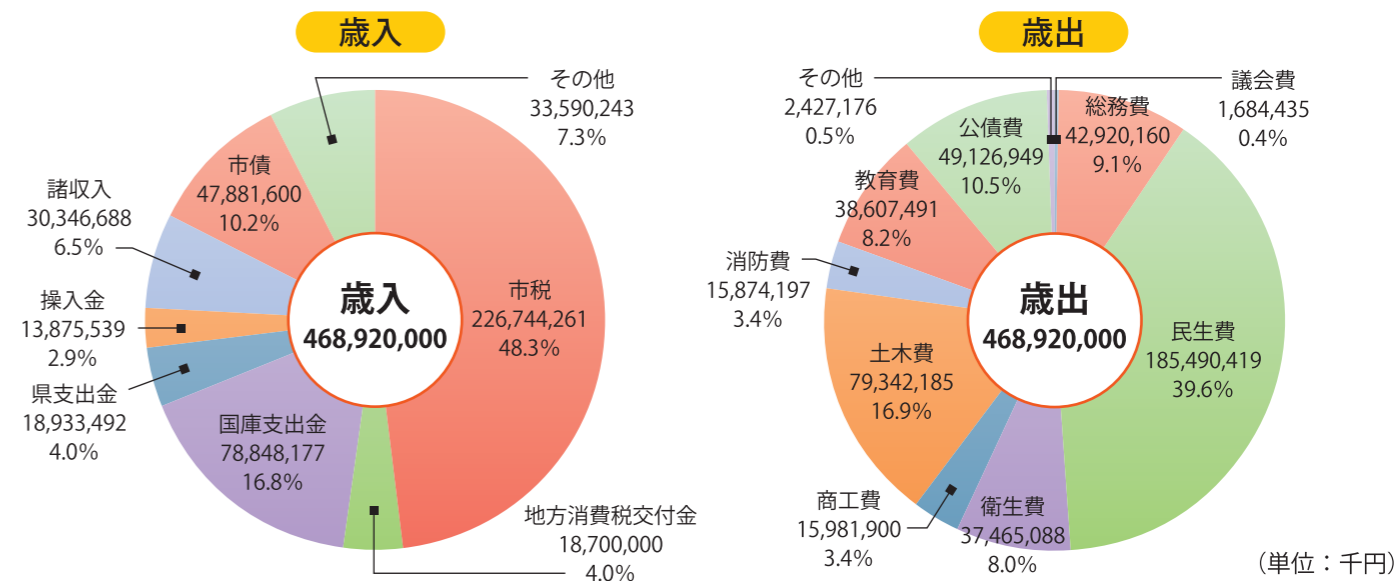
予算の特徴

本市の良さや強みである「教育」、「環境」、「健康・スポーツ」といった分野を生かしながら、将来を見据えて、「子育て支援」、「安心・安全」といった分野に重点的に配分した予算となった。

予算規模

一般会計	4689億円	▶▶▶▶	前年度比	129億円	2.8%
特別会計	3294億円	▶▶▶▶	前年度比	61億円	1.9%
企業会計	1153億円	▶▶▶▶	前年度比	▲62億円	▲5.1%
全会計	9136億円	▶▶▶▶	前年度比	128億円	1.4%

【平成28年度 一般会計予算】



阪本かつみオフィシャルブログのQRコードです。
お手持ちの携帯電話等でQRコードを読み取ってご覧ください。

阪本かつみ オフィシャルウェブサイト
<http://sakamoto-katsumi.net/>



代表質問に臨む!

代表質問項目

1 国土形成計画について

- 1) 首都圏広域地方計画※1における本市の位置づけは
- 2) 今後の取組みについて

2 産業集積拠点整備に合わせたまちづくりについて

- 1) 田島産業集積拠点整備の進捗状況及び今後の取組みについて
- 2) 西浦和駅周辺のまちづくりについて
- 3) ウェストパーク構想について



●西浦和駅周辺

3 文化芸術都市創造に向けて

- 1) さいたまトリエンナーレ※2のレガシーとは何か
- 2) 市民・企業との協働について
- 3) 今後の市民周知のあり方について
- 4) 文化芸術事業の財源確保について



4 環境未来都市創造に向けて

- 1) 今後のエネルギー情勢についての市長の見解や取組みは
- 2) 「E-KIZUNA Project」や「次世代自動車/スマートエネルギー特区」について、これまでの取組成果や課題について
- 3) 市長の考える理想の「環境未来都市」と、取組みの方向性について



●本年3月に桜区中島に設置された水素ステーション

5 公民連携(PPP)の推進について

- 1) これまでの取組みについて
- 2) 公民連携を活用した市政の展望について

※1「首都圏広域地方計画」において「大宮」が東日本の玄関口となる交流拠点として、また、首都直下地震にける首都圏のバックアップ拠点として位置付けられています。

※2トリエンナーレとは？
アートを鑑賞するだけでなく、共に創り参加する、開かれた創造と交流の現場をつくりだすことを目指した国際芸術祭です。

2016年9月24日(土)～12月11日(日) [79日間開催]



産業集積拠点整備に合わせた西浦和駅周辺のまちづくりについて

Q 建築制限等のある長期未着手の区画整理事業や、東西アクセス道路、更にはUR都市再生機構田島団地の建替えなどの課題を踏まえて、産業集積拠点整備との連携したまちづくりを今後どのように進めていくのか伺う。

A これまで本市とUR都市再生機構で、区画整理地と田島団地の連携したまちづくりについて検討を重ねてまいりましたが、昨年1月より産業集積拠点の所管を加えて検討を進めているところです。
こうした中、地元の皆様が中心となり新たなまちづくり団体を設立しております。今後のまちづくりの方向性については、それぞれの権利者との合意形成を図るとともに、地元のまちづくり団体とも連携をして、西浦和駅周辺地区全体を支援したまちづくりについて考えてまいります。



(仮称) ウェストパーク構想について

Q 荒川河川敷を利用した公園・緑地(荒川運動公園、ハンノキの里、秋ヶ瀬公園、さくら草公園、彩湖公園)を、運動面から自然環境保全まで担える「ウェストパーク」と位置付けて、一体的な整備を進めてはどうか。

A 荒川彩湖公園と桜草公園の往来をわかり易く明示した掲示板の設置や、各公園間を結ぶウォーキングコースの策定等、実施可能な施策から取組み、国・県及び隣接市と協議を重ねながら荒川緑地空間の一体化に向けて検討してまいります。

